

## ～平成26年度第3回コア会議を開催しました～

平成27年3月5日(木)に「公園マネジメント会議 平成26年度第3回コア会議」が愛・地球博記念公園 地球市民交流センターにて開催され、19名のコア会議会員の方が出席されました。

事務局から平成26年度の評価について説明され、アンケート項目について承認されました。また、今後は都市緑化あいちフェアに向けての準備が本格化されることから、次年度のスケジュールについて事務局から説明があり、承認されました。そして、運営ルールブックの改正案が提案され、承認されました。その後、「公園マネジメント会議の実行力」について、グループに分かれて意見交換を行い、全体で発表・共有しました。



## 公園マネジメント会議の平成26年度の評価について

(報告・承認)

ア) 評価項目・評価方法について

- 平成25年度公園マネジメント会議の活動結果の評価と今年度の対応について事務局から説明されました。
- 平成26年度の評価指標及び目標値について承認されました。

イ) 会員アンケートについて

- 会員アンケートの内容について、改善点を中心に事務局から説明されました。
- 会員アンケートの実施について承認されました。

ウ) 公園利用者アンケートについて

- 公園利用者アンケートの内容について、事務局から説明されました。
- 「モリコロパークの大アンケート大会」の項目について承認されました。

(質疑・意見交換)

- 評価委員会で一番問題になったのは、回答数・回答率が減ってきていることである。アンケートを効果のあるものにして、会員間の風通しを良くしたい。
  - 公園利用者アンケートは、イベント等で会員が協力すれば短期間で今よりも多く集められると思う。
  - このアンケート結果が今後どう活かされるのか明確にすべきである。
- 継続的に実施している公園全体のアンケートと評価は続けていながら、イベントの評価についても考えていけると良い。アンケート結果はマネジメント会議の活性化を図る上でも重要である。
- もともと、会員みんなでアンケートを実施しようという意図で始めたものである。10年の節目として、今までの集計をまとめ、「緑化フェア」の時に公園マネジメント会議の成果として展示に活かしてはどうか。



## 次年度の進め方について

(報告・承認)

- マネジメント会議の次年度の進め方について、コア会議を緑化フェアに向けたゾーン別会議へと置き換えた案が事務局から説明されました。
- 次年度のスケジュールについて承認されました。

(質疑・意見交換)

- 9月の「全国緑化フェア」開催前に、会員全体が集う機会(決起集会としての総会など)を設けてはどうか。
- 公園マネジメント会議としては、「緑化フェア」開催後のことも併せて考える必要があるため、情報を共有できる場があるといい。決起集会の際に話し合えるとよい。



## 運営ルールブックの改正提案について

(報告・承認)

- 休会制度について、事務局よりルールブックの改正案が提案されました。
- ルールブックに休会制度を盛り込む改正案が承認されました。

(質疑・意見交換)

- 特に意見なし。



## 「公園マネジメント会議の実行力」について考えよう!

(ワークショップ)

- 13の分科会の現状について、事務局より報告されました。
- 分科会を活性化して実行組織として有効に機能させるためには、どうしたらいいかグループ討議を行い、分科会に関する新たなルール案が提案されました。
- 改善策として、①やめやすくする、②つくりにくくする、③評価する、の3つに関する案が出されました。

【全体共有】

- 分科会の運用ルールを変えていく必要があることが皆さんの共通認識として挙げられる。改善策として、①やめやすくする、②つくりにくくする、③評価する、がポイントとなる。
- 「①やめやすくする」の視点では、分科会として結果報告と次年度計画を提出する際に、やめるという選択肢を用意し、やめやすくするのも必要である。
- 「②つくりにくくする」の視点では、構成団体は複数とする、年1回の活動の義務化(ノルマ)が必要である。
- 「③評価する」の視点では、評価を全体で議論するのは大変なので、評価委員会が評価するのが一番スムーズかと思う。分科会を把握し、類似した分科会を束ねるなどの助言、勧告といった役割を評価委員会に持たせるといい。

(主な意見)

①やめやすくする

- 「緑化フェア」のD会議のように、分科会の目的が果たされれば解散すればよい。

②つくりにくくする

- 分科会のルールとして、複数の団体が関わっていなければいけない。また、分科会の目的が公園の活性化につながっていなければいけないと思う。

③評価する

- マネジメント会議会員が、今後、分科会をどのようにしていきたいと考えているかを見直す必要がある。
- 1年間の分科会活動の成果を公園マネジメント会議で報告するなど会員全体へ見せることが大切である。そうすることで、参加メンバーが増えたり、提案がもらえたりと応援できる環境が整うのではないかと。

④その他

- 分科会は、専門的なことに特化したメンバーで話し合うための会として必要である。
- 分科会メンバー同士での連絡が取りにくい現状を、ブログやフェイスブック等の手法で事務局も情報提供し、分科会活動の情報共有を図れるといい。
- この10年間は万博を意識して活動してきたが、これからは万博だけでなく公園活性化のための活動に軌道修正が必要ではないだろうか。

## 会員情報

- 今回は以下の会員に活動紹介をしていただきました。

1) 知ってましたか?〇〇

- 「愛知県創造レクリエーション研究会」
- 「社会福祉法人日本介助犬協会」



## 連絡事項

- 「モリコロパーク春まつり」が3月21日、22日に開催されます!公園マネジメント会議としては、パネルや万博の思い出の品の展示、ミニステージなどを行います。ご参加、ご協力よろしくお祈いします!(事務局)

## お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 山口 千代子  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 落合 真由美  
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙1533-1 TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

